

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たのしい家 小倉北作成日: 平成 30 年 3 月 11 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化しているので、新しい参加委員を増員し、会議が今以上の充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員として、地域で活動している有識者、知見者、複数の民生委員、薬剤師、公民館館長、他グループホーム管理者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけでなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員が頑張っているが、これからのグループホームの在り方を検討し、2025年に向けて、職員の介護技術の向上と意識の高揚を図っていく。	職員の経験や習熟度に合わせて、外部の研修会に交代で参加を促し、知識や介護力、情報を習得し、職員の質の向上と、意識の高揚に組み、意欲的に働ける就労環境を目指していく。	12ヶ月
3	51	日常的な外出の支援	職員不足の中、日常的な外出が難しいので、職員の勤務体制や職員のやる気を引き出し、利用者の希望に添える外出の支援に取り組んでいく。	利用者が日常的に外出できるように、ボランティアや家族にお願いし、近隣の公園やコンビニへ出かける等、利用者の気分転換に繋がる外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。